

令和3年10-12月期中小企業（製造業）

景況動向調査結果

令和4年1月15日
群馬県中小企業団体中央会

調査結果の概要

1. 調査目的 県内中小企業（製造業）における景況動向を的確に把握し、時宜を得た中央会指導方針の策定に資することを目的とする。
2. 調査期間 令和3年12月10日～令和3年12月31日
3. 調査方法 郵送調査
4. 調査対象 県内中小企業（製造業）で、本会会員組合所属の500社
5. 回答状況 調査対象500社のうち回答を得られたのは241社で、全体の回収率は48.2%となった。回答企業の平均従業員数は53.2人であった。

| 業 種 | 項 目 | 調査数 | 回 答 | | 平 均 従業員数 |
|-----------------------------------|-----|-----|-----|-------|-------------|
| | | | 数 | 率 | |
| 食 料 品 製 造 業 | | 95社 | 40社 | 42.1% | 53.8人 |
| 織 維 ・ 同 製 品 製 造 業 | | 59 | 31 | 52.5 | 18.0 |
| 木 材 ・ 木 製 品 製 造 業 | | 30 | 18 | 60.0 | 22.3 |
| 紙 加 工 品 製 造 業 | | 32 | 13 | 40.6 | 23.9 |
| 窯 業 ・ 土 石 製 品 製 造 業 | | 61 | 40 | 65.6 | 41.4 |
| 金 属 ・ 機 械 ・ プ ラ ス チ ッ ク 製 品 製 造 業 | | 223 | 99 | 44.4 | 78.0 |
| 計 | | 500 | 241 | 48.2 | 53.2 |

6. 要旨

「全体的に回復傾向にあるものの、依然として低迷状態続く」

売上高と収益性を合わせたD I 平均値（前年同期比）〔※「前年同期比」は、令和 2 年 10-12 月期と比較した値。以下、「同期比」と表記〕については、▲9.0 となり、前回調査(令和 3 年 7-9 月期)の▲11.0 から 2.0 ポイント上昇している。来期見通しにおいては、3.7 ポイント上昇し、▲5.3 となる見通しになっている。

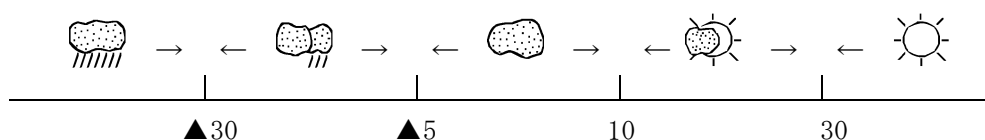
また、販売価格はわずかながら上昇しているものの、原材料価格がそれ以上の大幅な上昇を示している。

全体の天気図は、「小雨」となった。来期見通しにおいても「小雨」の状態が継続する見通しとなっている。

【図表 1】

| | 元年 (31 年) | 2 年 | | | | 3 年 | | | | 来 期 見 通 |
|--------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|------------|
| | 10-12 | 1-3 | 4-6 | 7-9 | 10-12 | 1-3 | 4-6 | 7-9 | 10-12 | |
| 全 体 | ▲27.1 | ▲38.5 | ▲70.4 | ▲62.9 | ▲50.1 | ▲36.7 | ▲6.4 | ▲11.0 | ▲9.0 | ▲5.3 |

※景況天気図は「売上高」「収益性」(同期比)のD I 平均値を下記の基準に当てはめたもの。



業種別にみると、回復 2 業種、悪化 2 業種、横ばい 4 業種となっている。

回 復…「食料品」 →

「木材・木製品」 →

悪 化…「金属・同製品」 →

「プラスチック製品」 →

横ばい…「繊維・同製品」 が継続。

「紙・加工品」 が継続。

「窯業・土石製品」 が継続。

「機械・機器」



が継続。

来期見通しにおいては、回復3業種、悪化1業種、横ばい4業種となっている。

回復…「食料品」



「金属・同製品」



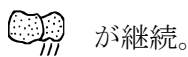
「プラスチック製品」



悪化…「木材・木製品」

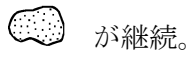


横ばい…「繊維・同製品」



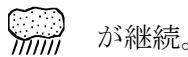
が継続。

「紙・加工品」



が継続。

「窯業・土石製品」



が継続。

「機械・機器」



が継続。

【図表2】

